

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和3年 4月 15日
発信課	防災安全部 交通防犯課
担当者	山崎 里佳
連絡先	電 話 0166-25-6215(直通)
	FAX 0166-25-9835
	E-mail kotsubohan@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事
日 程	5 月 11 日
発表項目 (行事名)	旭川藤星高等学校交通安全教室
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>1 目的 日常的に自転車を利用する機会が多い高校生に対し、自転車運転のマナー向上を呼びかけ、交通安全意識の高揚及び交通事故防止を図る。</p> <p>2 日時 令和3年5月11日(火) 午後1時20分から午後3時10分</p> <p>3 場所 旭川藤星高等学校体育館(旭川市花咲町6丁目)</p> <p>4 内容 交通安全教室実施要領のとおり</p> <p>5 主催・協力 主催:旭川藤星高等学校 協力:旭川中央警察署, 北海道クミアイ自動車学校, 旭川市消防本部指令課, 旭川市防災安全部交通防犯課</p> <p>6 参加者 旭川藤星高等学校1年生, 2年生全生徒267名及び教職員, 旭川中央警察署交通第一課職員, 北海道クミアイ自動車学校講師, 旭川市防災安全部交通防犯課</p> <p>7 その他 コロナ対策により, 1年生及び2年生で学年を分けて2校時実施する。</p>
添付資料	<p>有 (交通安全教室実施要領)</p> <p>※ 有の場合, 資料の内容を記入すること。なお, 別途冊子等の配付を希望する場合は, その旨記入すること。</p>
報道(取材)に 当たってのお願い	
備 考	

令和3年度 旭川藤星高等学校交通安全教室 実施要領

1 目的

日常的に自転車を利用する機会が多い高校生に対し、自転車運転のマナー向上を呼びかけ、交通安全意識の高揚及び交通事故防止を図る。

2 日時

令和3年5月11日（火）午後1時20分から午後3時10分（2校時に分けて実施）

1回目：午後1時20分～午後2時10分（1年生）

2回目：午後2時20分～午後3時10分（2年生）

3 場所

旭川藤星高等学校 体育館

4 内容

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶・講師紹介
- (3) 実技・講話（内容の詳細は別紙参照）
- (4) 代表生徒挨拶
- (5) 閉会

5 主催及び協力

主 催：旭川市藤星高等学校

協 力：旭川中央警察署，北海道クミアイ自動車学校，旭川市消防本部指令課，
旭川市防災安全部交通防犯課

6 参加者

旭川藤星高等学校1年生，2年生全生徒267人及び教職員，旭川中央警察署交通第一課職員，北海道クミアイ自動車学校講師，旭川市防災安全部交通防犯課職員

令和3年度 旭川藤星高等学校交通安全教室 実施内容

1 開 会

2 講師紹介（2分）

3 実験開始

司会・進行：旭川中央警察署職員（実験1，2）
北海道クミアイ自動車学校職員（実験3～5）
準備・補助：旭川市防災安全部交通防犯課職員

<実験1> 傘差し乗車の危険性について【実技実験】

内 容：傘差しで細いコースを走行し不安定さや回避行動のしにくさを体験する。

参加数：1名（1名は自転車持参，傘（市で用意））

実験時間：約5分

<実験2> 並進の危険性について【実技実験】

内 容：一般的な歩道を模した3.5m幅のコースにおいて，3名の生徒が並んで歩いている横を，並進する3台の自転車が追い越し，その危険性について認識する。2回目は自転車は1列で追い越し，安全であることを確認する。

参加数：6名（うち3名は徒歩，3名は自転車持参）

実験時間：約10分

<実験3> 自動車の挙動把握実験【実験映像上映】

内 容：免許を持たない高校生に自動車の動きを把握してもらうための実験。

実験時間：約6分

<実験4> 自転車衝突実験【実験映像上映】

内 容：乗用車を自転車に衝突させ，どの程度の衝撃があるか認識する。

実験時間：約7分

<実験5> 事故に遭遇した場合の対処方法【実験映像上映】

内 容：事故（自転車が乗用車に衝突）を再現し，代表生徒が事故現場に居合わせた設定で，消防119番への訓練通報を伝えながら対応について学ぶ。

参加数：2名（携帯電話は市役所で用意）

実験時間：約10分

4 総 括 旭川中央警察署（7分）

5 生徒代表挨拶（3分）

6 閉 会